

⑤ 幼稚園での服装

私服登園です。

基本的な服装の注意点

自分でできる服装 ゆとりがある、シンプルである

幼児が自分で脱ぎ着できるような服装。ピッタリサイズのもの、ボタンが多いもの、着方が複雑なもの（後ろ側にボタンが付いているなど）は、幼児の自立を妨げます。

靴もなるべくシンプルなもの。紐靴、ヒールのある靴、サンダルはご遠慮ください。（夏場の水遊び用にサンダルを持たせて下さるのは結構です）

安全な服装 フード、飾りが多いものは危険です！

フード付きのものは、冬の防寒着を除いて極力避けましょう。

フードは、1. 遊具に引っかかる 2. 友達に引っ張られやすい 3. かぶって歩くと危険

飾り（襟元に紐やぼんぼりが付いていると、絡まって危ない。ブーツについている飾りが引っかかり転倒する危険がある。アクセサリのようなものが付いていると、金具が飛び出して思わぬ傷を作ったり、他児にけがをさせることがある。など）

行事によっては、おしゃれをしてきたりお気に入りの服装で来ることがあります。その際は、着替えを持参して遊びと行事で使い分けましょう。

素材への配慮 自然素材で、肌呼吸を助けましょう

最近、高機能素材の肌着などが流行していますが、その理由の一つとして天然素材である綿の価格が高騰していることがあげられるそうです。

子供たちは大人と比較にならないほど汗をかきます。汗を上手に吸ってくれる綿 100%の肌着は、子供たちの健やかな育ちを促します。お子様によっては、化繊の肌着や服によってかぶれを起こすこともしばしばです。

子供は大人と違うということを今一度考慮し、おしゃれで服装を選ぶのではなく、成長を促すような服選びをしてみましょう。

雪が降ったり寒くなってきたとき

防寒具（つなぎのジャンパーや暖かい帽子、ぬれにくい手袋など）防寒シューズ、長靴など。マフラーは首に引っかかることもあるので、ネックウォーマーかしっかりとボタンなどで止まってほどこないもの。

お子様が、おもらしや遊びによる服の汚れがあった場合、自身の着替えを使用します。汚れ物を持って帰った際は、次の日に代わりの着替えを持たせて下さい。

着替え袋は、年2回衣替えの季節に家庭に持って帰ります。中身を確認し、季節に合わせた着替えに変えて園に持たせて下さい。

お着替えの貸し出しについて

着替え袋に着替えが不足している場合は、園の着替えをお貸しします。その際は、必ず洗って早めに園に返却願います。

同様に、色帽子・中ズック・防寒具などの貸し出しの際も、洗ってお返してください。

その他行事の際、幼稚園の制服である「セーラースモック」の着用が必要になります。ガイドや月のお便りなどで指定がありますので、ご確認ください。

セーラースモックを着る際、名札はセーラースモックの内側など見えないところに付けてください。

なお、年長児になったらツーピースの制服を貸し出します。使用時にお知らせいたしますので、ご確認ください。

年に数回、白タイツの指定がありますので、ご準備をお願いします。

指定のない場合は、遊び着で登園します。汚れてもいい服装で、思う存分遊ばせてあげましょう。



セーラースモック



年長制服（女兒）

- セット内容
- ・ジャケット
 - ・チェックスカート
 - ・サスペンダー



年長制服（男児）

- セット内容
- ・ジャケット
 - ・短パン
 - ・サスペンダー

○夏季水遊びの準備について

夏季で気温の高い日（およそ 25℃以上）には、戸外で水遊びをすることがあります。つきましては、いつでも水遊び泥遊びができるように下記の用意をお願いします。また体調管理にもご協力ください。

水遊びは涼をとるだけでなく身支度の練習でもあります。特に年少以上は自分たちで準備や片付けを行います。上手にたためなくても本人の努力の跡をそのままご家庭へ持ち帰りますので、お子様の身支度の様子をご確認いただき、生活の課題にして頂ければと思います。

未満児は、足を水につけるなど涼をとったり水を触って遊んだりする機会にします。水の事故がないように、大きなプールは使用しません。

持ち物

- ・体を拭くバスタオル（皮膚疾患の感染予防のためにも、必ず個人用を持たせて下さい）
- ・泥などで汚れてもよいズボン、パンツ（おむつ使用のお子さんは、パンツは必要ありません）
- ・濡れたものを入れる袋
- ・上記のものを入れる袋またはバッグ

※すべてに名前を付けて持たせて下さい。

※使った日に持ち帰りますので、翌日着替えを持たせて下さい。持ち帰りを忘れて他の子の服を持ち帰ったりした場合は、その旨園までお知らせください。

前日や当日の朝など、熱があつたり体調不良の場合は、水遊びは出来ません。水遊びを控えたい日は、おたより帳にてお知らせ下さい。

水遊びの流れについて

ここにこルーム・つぼみ組

水遊び用の格好（おむつ、スモック）に着替えます。1歳児・つぼみ組は、スモック等の着脱は自分で行います。

水遊び終了後、お着替えをします。濡れた衣類・おむつは、持ち帰ります。

年少～年長

自分で水遊び用の格好に着替えます。また、自ら上がった時の着替えの準備をして、出来た順に水遊びが始まります。（どうしても自分でできないお子さんにも、自分でやってみる時間を与えから手伝います）

水遊びが終わったら、自分のタオルで体を拭きます。ぬれた衣類は自分で絞りタオルにくるむなど自分で後始末をし、家へ持ち帰ります。